

令和7年 第10回 定例教育委員会 会議録

日 時	令和7年10月24日 (金) 14時00分～15時05分	
場 所	阪南市防災コミュニティセンター 1階研修室	
	〈教育委員会〉 教育長 中野泰宏 教育長職務代理者 八田三紀 委員 辻雅之 委員 水島浩子 委員 柴崎一也	
出 席 者	〈事務局職員〉 生涯学習部長 松下芳伸 副理事長 兼生涯学習推進室長 木村浩之 教育総務課長 堀野純司 学校給食センター所長 寺井浩之 学校教育課長 石原慎 こども政策課長 楠本剛史 <small>生涯学習推進室長代理 兼中央公民館長代理</small> 秋山秀子	
事 務 局	教育総務課長代理 永井隆祐	
書 記	教育総務課長代理 永井隆祐	
傍 聴 者	なし	

会議の要旨

(教育長)

令和7年第10回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に辻委員を指名する。

◆承認事項第1号「令和7年第9回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第1号「令和7年第9回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、案のとおり承認されたものとする。

◆協議事項第1号「阪南市立公民館条例の一部改正について」(生涯学習推進室)

(教育長)

協議事項第1号「阪南市立公民館条例の一部改正について」生涯学習推進室の説明を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

中央公民館の設置場所について、令和8年4月1日より直営で管理運営を行う東鳥取公民館へ変更するため、当該条例の一部改正をしたいので、協議をお願いするものである。なお、施行期日は、令和8年4月1日である。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(辻委員)

令和8年4月から東鳥取公民館と西鳥取公民館が直営となる中、尾崎公民館は指定管理者の体制が変わらないのであれば、そのまま尾崎公民館に中央公民館を置いておいてもいいのではないかとも思うがどうか。また、中央公民館を東鳥取公民館に変更する場合、東鳥取公民館には、東鳥取公民館長と中央公民館長の2人が配置されることになるのか。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

現在、尾崎公民館内に市職員と指定管理者が併存しているが、一部の業務実施

に弊害が生じていること、また、事務室自体も非常に手狭なことから、今回、直営で管理運営を行う東鳥取公民館に変更するものである。また、職員配置については、今後の話となるが、おそらく東鳥取公民館長と中央公民館長は兼務になるだろうと考えている。

(教育長)

他に、意見、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

協議事項第1号について、案のとおり協議が整ったものとする。

◆協議事項第2号「阪南市子ども・子育て会議委員について」(こども政策課)

(教育長)

協議事項第2号「阪南市子ども・子育て会議委員について」こども政策課の説明を求める。

(こども政策課長)

前委員の退任に伴う措置として、阪南市子ども・子育て会議条例第3条第2項の規定に基づき、市長が教育委員会の意見を聴いて、資料記載の1名の方に阪南市子ども・子育て会議委員を委嘱したいので、協議をお願いするものである。任期は、前任者の残任期間である令和7年1月1日から令和9年8月31日までである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

協議事項第2号について、案のとおり協議が整ったものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和7年9月1日から9月30までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した4件について、報告する。

1件目は、日本現代作法会大阪南支部主催「伝統文化こども作法教室」である。令和7年10月12日から12月21日にかけて全7回にわたり、阪南市立尾崎公民館において、小学生が様々な伝統文化を実習しながら学ぶ作法教室が開催さ

れる。

2件目は、こども万博実行委員会主催「未来のトビラをひらく『こども万博』」である。令和7年10月10日から11日にかけて、大阪・関西万博EXPOメッセ「WASSE」において、万博来場者を対象に、「小学生の夢スピーチコンテスト」など、子どもの夢を応援するイベントが開催された。

3件目は、社会福祉法人阪南市社会福祉協議会主催「阪南市子どもボランティアサミット」である。令和7年10月19日、防災コミュニケーションセンターにおいて、ボランティアに関わる子ども・若者を対象に、阪南市内でのボランティア活動についての報告・交流が行われた。

4件目は、第56回大阪府人権教育研究泉南大会現地実行委員会主催「第56回大阪府人権教育研究泉南大会プレ大会（第49回泉南人研研究集会）」である。令和8年2月6日、泉南地区内公共施設及び小中学校において、泉南地区内の教職員を対象に、人権教育について交流・議論が行われる。

これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

（教育長）

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

（柴崎委員）

1件目の「伝統文化こども作法教室」について、小学生の参加人数はわかるか。

また、チラシ配布などは行っているのか。

（教育総務課長）

作法教室が開始直後で、実績報告書の提出もまだないことから、現時点では、参加人数は把握できていない。また、チラシ配布は行っていない。

（教育長）

他に、質問等はないか。

（全委員）

質問等なし。

◆報告事項第2号「令和7年度第1回阪南市立図書館協議会の会議録について」

（生涯学習推進室）

（教育長）

報告事項第2号「令和7年度第1回阪南市立図書館協議会の会議録について」生涯学習推進室の報告を求める。

（生涯学習推進室長）

令和7年8月4日に開催した、令和7年度第1回図書館協議会の会議録について報告する。案件は、（1）協議会会長及び会長代行の選出について、（2）令和6年度事業報告について、（3）令和7年度事業について、（4）文化センター及び図書館の一体的な管理運営状況について、（5）指定管理者モニタリングにつ

いて、(6) その他報告事項、であった。

詳細は資料のとおりである。

(辻委員)

泉南地域(5市3町)で図書館(室)の相互利用の取組を行っているが、各図書館の館長や職員間での情報・意見交換会は行われているのか。また、本市図書館の指定管理者である図書館流通センターは、全国各地の図書館の指定管理者を行っているが、そのネットワークを利用した情報共有は行われているのか。

(生涯学習推進室長)

堺市以南の9市4町では、昭和61年に阪南地区図書館長連絡会を設置し、各市町の図書館相互の連絡を密にするとともに、年に1度のペースで会議を開催し、情報交換を行っている。直近では、本年5月23日に阪南市で会議を開催し、電子書籍に関することや子ども読書推進に関することについて、情報交換・情報共有を行った。

また、図書館長に確認したところ、府内において、図書館流通センターが指定管理を受託している図書館長と横のつながりがあり、特に近隣の高石市、和泉市、泉佐野市等とは、必要に応じて情報交換を行っていると聞き及んでいる。

(教育長職務代理者)

図書館の利用者をみると、年齢層が高いと感じる。これまで図書館に通えていたが、高齢になったことで図書館に通えなくなったという方がいるという声も複数聞く。デイサービスなどにふれあい号が巡回すれば、喜ばれるのではないか。

(水島委員)

教育長職務代理者と同意見である。

(生涯学習推進室長)

毎月開催している図書館との定例会において、ご意見を共有させていただく。

(辻委員)

阪南市の図書館はこの分野が強い、お隣の町の図書館はこの分野が強いといった、それぞれの図書館の特色を出していくことが大事だと感じている。私達の世代であれば、求めている専門書や読みたい本があれば、それを所蔵している図書館に自由に行くが、移動が困難な方にとっては、読みたい本が自分のもとに来てくれるのとても有り難いと思う。また、最近の流れとして、図書館は、本を読んだり、自習をしたり、静かにしないといけない場所から、人が集まり、ワイワイと賑わう場所に変わってきた。近隣市町などと情報共有もしているとのことであるので、図書館の更なる充実を図っていただきたい。

(柴崎委員)

人口が減っている地方都市において、図書館を起点として、地域経済の活性化やコミュニティの活性化を進めている取組がNHKで特集されていた。図書館の芝生や花壇をボランティアが手入れしたり、農業など体験活動をしてもらったり、まちの目玉の取組としているようであった。従来の図書館の使い方に加えて、様々な取組をすることによって、面白いまちづくりにつながるのではないかと思

う。

(教育長)

各委員の意見の意見などを踏まえ、図書館が更に発展していけたらと考える。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」(各担当課)

(教育長)

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。

各課の報告を求める。

※詳細は資料のとおり

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(辻委員)

皿田能関連で3点共有させていただく。

1点目は、第34回皿田能は、令和8年1月10日に開催することとなった。

2点目は、皿田能の開催に向けて、11月1日からクラウドファンディングを実施する。3点目は、次回の定例教育委員会での報告事項となるが、皿田能関連で後援名義の使用許可について、2件許可をいただいている。1件目は、11月29日から全8回開催する「皿田能 能楽こども教室」である。小学生を対象に、能楽の囃子方である大鼓を学び、本物の能舞台で発表する企画となっている。各小学校や校長会での周知をお願いしたい。2件目は、「大阪能楽大連吟@はんなん」である。こちらは「大阪能楽大連吟」と「皿田能」がコラボレーションした大人向けの企画で、3回の練習に参加すれば、能舞台に立てるというものである。能楽の特徴は、歌舞伎や文楽と違い、稽古を積めば、一般の方も舞台に立てるというところである。ぜひ多くの方に参加してもらいたいと考えている。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」(各担当課)

(教育長)

その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」について、各課の報告を求める。

まず、初めに、9月27日から実施されている「日本語指導者養成講座」につ

いて、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年9月27日から11月29日までのうちの9日間、土曜日の夜間に日本語指導者養成講座を開講している。連続する18コマの養成講座の修了後は、阪南市日本語クラブに登録のうえ、日本語教室の指導者として活動していただく。定員先着24人のところ反響が大きく、現在、39名の方が受講されている。講師は、大阪YWCAから派遣されており、「外国人の学習者に楽しい思い出をくることができるよう」ということ、指導者をめざす方々に有意義な講座となることを目標として、日本語クラブによる取組が進められている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、同じく9月27日に実施された「尾崎公民館食堂」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年9月27日、尾崎公民館食堂を実施し、60人の参加があった。今回は、「新聞の間違い探し」のレクレーションも行った。カレーを食べるだけでなく、レクリエーションを取り入れたことで、場がなごみ、交流が深まっている。また、多くの方に新米の寄附もいただき、ボランティアの方々のご協力のもと、大盛況に事業が展開されている。次回の開催は、11月22日を予定している。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、同じく9月27日に実施された「西鳥取公民館でのロビーコンサート」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年9月27日、午後1時30分から、西鳥取公民館登録クラブ「フォークソングジャンボリー」によるコンサートが開催された。地域の方、普段公民館へあまり訪れる事のない方々にも足を運んでもらうためのきっかけづくりを目的としており、今回で10回目の開催となる。毎回、季節や話題となった歌の披露に加え、軽快なテンポでの進行により、参加者をなごませるなど、思考を凝らし、組み立てられている。毎回40名前後の参加があり、男性お一人での参加の方も多く、気軽に参加しやすいイベントとなっている。参加者は、歌詞を見ながら熱心に口ずさんでいて、毎回盛況にコンサートが行われている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。
(全委員)

質問等なし。
(教育長)

次に、同じく9月27日に実施された、九州の佐賀県玄海町教育委員会内にある玄海町海洋教育推進協議会より、本市の海洋教育の取組の発表依頼を受け、九州の博多で開催されました「博多 海の会議」について、学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長)

令和7年9月27日、佐賀県の玄海町海洋教育推進協議会が主催する「博多海の会議」が開催された。会議の目的は、「海洋教育推進校の関係者が一堂に会し、各校の実践報告や情報交換を通じて、海洋教育の更なる充実と発展を図る。」とされており、その中で阪南市が取り組んでいる海洋教育についての発表依頼があり、参加させていただいた。

会議には、佐賀県や熊本市、下関市の学校が参加し、産官学連携による取組や、保護者や地域住民を巻き込んでの取組などについての発表がされ、本市で取組を進めるうえで大変貴重な情報をいただいた。本会議に参加して学んだことを本市の海洋教育推進協議会で報告し、本市の取組に活かしていきたいと考えている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

報告会は、今後、実施するのか。

(学校教育課長)

今後、海洋教育推進協議会の中で、各小学校長や海洋学習に参加されている方に対し、今回の報告をさせていただこうと考えている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、9月28日に実施された「アートスクール『カラフル小屋の貯金箱をつくろう』」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年9月28日、東鳥取公民館において、アートに親しむことにより創造性や想像力を養うことを目的として、アートスクールを開催した。木片を組み合わせ、小屋型の貯金箱を作った後、マスキングテープと絵の具を使って、色彩豊かな作品を仕上げることができ、大変好評に終えることができた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、9月30日に実施された「認知症サポーター養成講座」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年9月30日、午前10時30分から、認知症に関する正しい知識と理解を持っていただくため、図書館が窓口となり、認知症サポーター養成講座を開催した。当日は、阪南市地域包括支援センターの方を講師に迎えるとともに、読み聞かせボランティアやキャラバンメイトの方にも協力いただいた。10名の参加者に対して、認知症と間違いややすい病気の説明、地域包括支援センターの取組や仕事内容など、講義いただいたと聞き及んでいる。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、10月6日に実施された「ベビー服譲渡会」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年10月6日、午前11時30分から午前12時までの間、図書館の紙芝居コーナーでベビー服の譲渡会を開催し、11名の参加があった。1家族5枚までという制約があったが、合計30枚程度のベビー服を持って帰っていただいたと聞き及んでいる。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

ベビー服は、どのように集めているのか。

(生涯学習推進室長)

図書館が不要になったベビー服を市民の方から譲ってもらっていると聞いている。

(水島委員)

ベビー服の譲渡会に関連して、各小中学校の制服の譲渡については、市役所玄関に設置している「不用品リサイクル情報ボード」で、個人間でやりとりしている。それ以外で、使わなくなった制服を有効に活用する取組を何か行っているか。

(学校教育課長)

学校によっては、参観日などの機会を利用して、制服交換会を実施している。また、学校生活の中で制服などが汚れた場合に子どもに貸し出すこともあるので、使わなくなった制服がある場合には、学校に声掛けしてもらえると有難い。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、10月7日に開催された「第2回評価委員会」について、教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和7年10月7日、令和7年度第2回阪南市教育委員会評価委員会を開催した。第2回の評価委員会では、第1回評価委員会終了後に評価委員の方からいただいた意見や課題等を受け、47の点検評価項目について、「今後の方針」を作成し、その内容を関係各課から説明した。今後、報告書としてとりまとめ、次回の定例教育委員会で報告するとともに、第4回市議会定例会において報告する予定としている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、同じく10月7日に開催された「加藤啓子さんによる絵の本ひろば入門講座」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和7年10月7日、加藤啓子さんによる絵の本ひろば入門講座を開催した。加藤先生の絵の本ひろば入門講座は、令和6年2月以来、約1年半ぶりであった。9名の方が参加し、絵本の表紙を見せて並べ、子どもたちが自由に読みたい絵本に出会える「えほんのひろば」の作り方の基本を学んだ。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、10月8日に開催された「第1回臨時議会」について、生涯学習部長の報告を求める。

(生涯学習部長)

令和7年10月8日、市議会議員改選後初めて開催された議会において、阪南市議会委員会等の構成メンバーが決定した。議長に山本守議員、副議長に畠中譲議員がそれぞれ就任された。教育委員会関係の案件を審議いただく、厚生文教常任委員会は、岩室委員長をはじめ、7名の委員が就任された。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、10月9日に開催された「地域教育協議会交流会」について、学校教育課長の報告を求める。

(学校教育課長)

令和7年10月9日、各地域教育協議会の会長や事務局の方にお集まりいただき、地域教育協議会の交流会を行った。現在、4つの地域教育協議会があり、それぞれから昨年度の取組と今年度予定している取組について報告があり、その取組に対して、他の地域教育協議会の方から質問を受けるなどを行うことで交流を行った。各地域教育協議会により取組は様々であるが、地域の見守り活動や中学校の生徒や地域の大人が一緒に講演会に参加し、その後、子どもと大人が講演会で得た学びを交流し合うという取組を行っている協議会もあった。貝掛中学校区の街角ふれあい協議会と鳥取東中学校区のさわやか鳥東ネットでは、11月1日にフェスタを開催することとなっている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、10月14日に開催された「バスケットボール寄贈と感謝状贈呈式」について、教育総務課長の報告を求める。

(教育総務課長)

泉南市で不動産業を営んでいる株式会社アイランドホーム様より、全市立中学校に2球ずつ、計8球のバスケットボールをご寄附いただくこととなり、令和7年10月14日に贈呈式が行われた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、10月18日、19日に開催された「尾崎公民館まつり」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年10月18日、19日の2日間、「つながるよろこび」をテーマに第60回尾崎公民館まつりが開催された。今年度の新たな出店は、押し花サークル、ウクレレ、オカリナ、近畿大阪高等学校によるバンド演奏、たません販売などで

あった。フリーマーケットは、22店が出店し、体験コーナーでは、市民病院による健康チェック、地域包括支援センターによる健康のおはなし、「英語であそぼう」、プログラミング、ドローン、チョークアートといったコーナーが設置された。参加者により多くのブースを回ってもらえるよう、スタンプラリーを用意し、5か所回った方に景品を贈呈し、喜ばれていた。来館者数は、2日間で約1,500人で、大盛況であった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長)

次に、令和7年10月19日に開催された「子どもボランティアサミット」について、私から報告させていただく。

「子どもボランティアサミット」とは、平成30年に阪南市内の小中学生による「こども福祉委員」の組織を創設し、様々なボランティア活動に取り組んできたことを発表交流する場として始まった。飯の峯中学校こども福祉委員のOBで、大学1回生の岩本さんの司会進行で始まり、初めに、平成30年の第1回ボランティアサミットで作成した、こどもボランティア宣言の読み上げのあと、舞小学校、鳥取東中学校、貝掛中学校、飯の峯中学校の各校のこども福祉委員からの活動報告に続き、和泉学園の泉南学寮グリーンサポートーの活動も和泉学園の職員から報告された。また、サミットの後半は、各校のこども福祉委員がグループを作り、「ボランティアの魅力・面白さ」と「自分たちの街のためにできること・やりたいこと」というテーマで意見交流を行い、最後に各グループでの話し合いの成果を発表した。市長をはじめ、参加していた大人の方からも感想等をいただき、最後に参加者全員で記念撮影を行い、サミットは閉会した。

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし

(教育長)

次に、10月23日に開催された「厚生文教常任委員会」について、報告事項や議員からの質疑等があった課は順に報告を求める。

(生涯学習推進室長)

12月議会に上程予定の議案に係る案件として、尾崎公民館の指定管理者の選定と阪南市立公民館条例の一部改正について報告を行った。各委員からは、現行の3館指定管理者である体制と次年度以降の1館指定管理者2館直営での体制との経費に関すること、将来的な公民館の体制に係ることについて、質問があった。

(教育長)

その他、各小中学校へのコミュニティスクールの導入に関し、今後のスケジュールについて、報告を行った。

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他（教育長）

(教育長)

続いて、委員から何かないか。

(柴崎委員)

小学校中学年における教科担任制については、私からも進めるべきであると話をさせてもらっているところであるが、進捗状況はどうか。

(学校教育課長)

今年3月に明海大学の剣持教授をお招きし、管理職、首席、教務担当を対象として教科担任制についての研修を実施した。今年度は、上荘小学校がモデル校として、中学年以上で教科担任制を取り入れ、実践を行っている。校長からは、「教科担任制を行うことで、隣のクラスの子どもの様子を知ることができ、担任が学年全体を担任しているという意識を持てる」、「受け持つ教科が減ることにより、より教材研究に専念することができ、教師の授業力を伸ばすことができる」という話を聞いている。他の学校でも高学年を中心に教科担任制をとっている学校もあるが、好事例を共有し、各校で取り入れられるところから実践していきたいと考えている。

(柴崎委員)

子どもが減り、単学級が増えると、子どもたちは1人の教員としか関わないこととなってしまう。教科担任制を導入することで、子どもたちにもメリットがある。また、若い教員が増えている中、教員の力量を高めることにもなると思う。

(教育長)

他に何かないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次回の令和7年第1回定例教育委員会は、令和7年11月28日金曜日午後2時から阪南市防災コミュニティセンター6階多目的室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和7年第10回定例教育委員会を閉会する。